



メネット事業通信 2号

2020.12.

主題「**「勇気とやさしさを持って！小さな事でも世界は変えられます」**」

2020-2021 メネット事業主任 吉本典子（熊本ジェーンズ）

日頃よりメネット事業へのご理解、ご支援をいただき心より感謝申し上げます。

街にはクリスマスのイルミネーションが輝く季節になりましたが、今年は新型コロナの影響でちよっぴり静かなクリスマスです。9月はメネット強調月でした。クラブ内ではメネット例会、部内ではメネットアワーが多く開催され、国内プロジェクトである各地域YMCAへの支援もいただきました。

メネット事業主査研修会報告Ⅱ

メネット事業通信1号では各部主査の皆さまの事業方針・自己紹介を掲載いたしました。今回は研修会で発表された各部の報告を掲載いたします。

中部：数澤淑子主査

メネット会は金沢のみとなった 高齢化が進み、意思疎通が難しい。3年前合同メネット会に中部のメネットは誰も参加しなかった。YMCAの支援をしていきたい。

びわこ部：滝本英子主査（欠席）

京都部：中村典子主査

部会は中止、メネットアワーも中止。メンからメネットへの連絡が無い。必要な時だけ呼ばれる。メンの協力でメネットへの連絡を徹底して欲しい。メネット例会へ参加して皆さんとお会いしたい。

阪和部：丸尾欽造主査

メネットの集いを秋に部会に先立って行っているが今年は検討している。メネット交流会を春に行っているが状況が読めないので検討している。

クラブのメネット例会には可能な限り出席したい。国内プロジェクト支援を年間通して行っていきたい。YMCA 支援を呼びかける。メネットは70名、一定のメネットしか参加しない。

中西部：栗田達夫主査（欠席）

吉田由美部長が代理で出席

西日本区メネット事業主任の方針に則り、メネットのあり方を模索中。大阪YMCA 支援を中心に考えています。メネット会については把握していない。

六甲部：大田厚三郎主査

3つの活動、子どもの貧困子・ども食堂の支援を継続している。部会中止のため、メネット会を開催したい。

第1回メネット事業委員会報告

瀬戸山陰部：竹内芳江主査

部会中止。一泊二日のキャンプの昼食を作る予定ができず、ブドウの差入れを行う。
バスツアーの費用1台分を負担。
子どもの貧困に取り組む YMCA 取り組の支援を手助けする（児童養護施設の子どものたちの習い事）
政府等の支援がない部分については講演会などで子ども現況を伝えられる方を講師に迎えたい。

西中国部：阿武朋子主査（欠席）

渡邊悦司部長が代理で出席
主査の主催でメネット ZOOM 会議を始められた。広島クラブのメネットさんが中心である。広島クラブメネットが決めないと動かない。

九州部：小園庸子主査

例会も開催できていない。九州部のメネットの皆さんと会って交流したかったができない状況。困難な状況にある留学生が気にかかる。鹿児島もコロナ禍にある。豪雨災害の支援なども出来るのでは。

「その他ご意見」

- *各部でメネット共有認識について話し合いをして欲しい。（古田裕和理事）
- *ベルマークで六甲部は10万円の支援ができたようなので是非、各クラブでベルマークを集めて欲しい。（吉本）
- *子どもの貧困について 奈良クラブでフードドライブを行っている。3年連続、家庭で余っている物を子ども食堂に提供している（お歳暮やお中元の品物・缶詰）。9月12日、18:00～ハイブリッドメネット例会を開催する。（中井信一阪和部部長）
- *特別メネットについて意見交換
特別メネット会費 10,000円（六甲部主査）
西日本区特別メネット会費 前期4,000円
後期4,000円

協議内容

1. メネット会計について
 - *メネット会計の繰越金を今期国内プロジェクトで有効に使うて欲しい。
 - *メネット会計で、ゆうちょ銀行の引継ぎが難しく大野勉直前から説明がありました。
 - *国際プロジェクトへの献金送金後の報告がされていないので大野勉国際議員にお願いしました。
2. メネット国内プロジェクトについて
 - *実施報告書が出ているクラブ（提出順）
熊本ジェーンズクラブ
瀬戸山陰部
熊本クラブ
3. 次期メネット国内プロジェクトについて
 - *竹内芳江次期メネット主任より事業方針計画の説明がありました。
4. メネット「共有認識」について
 - *基本的に国際に合わせる必要はなく、西日本区で考えてやっていくという姿勢が良い
メネットとはパートナーのことである（性別を問わず）のところから意見を聞いて、あとに続くことを考えていきましょう。
 - *定款などの変更を伴わないような範囲で進めていきたい
5. その他
 - *西日本区大会でのメネットアワーについて
 - *YMCA キャンプ100年記念シンポジウムについてアピール。



「共有認識」

- ◆メネットとはパートナーのことである
(性別を問わず)
- ◆メネット会長・主査・主任はメネットである
ことが望ましいが状況や事情によりメンが
担うことも可とする
- ◆メネット会長、主査が有する資格と権利は各
クラブ・各部の判断に委ねる
- ◆主任はパートナーであっても西日本区にお
ける議決権その他の資格と権利を有する
- ◆メネット事業主任の責務は
 - ・メネットに関する国際、西日本区、各クラ
ブ間の情報・権利・義務等を 部 (主査)
を通じてクラブ・メンバーに周知する
 - ・区全体の活動が円滑に行われる為の連
絡・調整役をはたす
 - ・区としての事業を起こす必要はないが、
かと言ってそのことを制限するもの
でもない

西日本区第2回役員会に協議案書を提案させていた
だきました。(10月31日 土)

協議名 : メネットについての再確認

協議内容 : メネットとは女性に対する定義であ
ることを再確認していただきたい。

提案理由 : 西日本区定款・定款施行細則では、
女性又は夫人と記載されてお
ります。

会員のパートナーが男性の場合は
メネットではありません。メネット
は女性を表す言葉だと思えます。

役員会での質疑・意見

*メネットのことを「ワイズパートナー」と呼んで
はどうか。

*言葉、特に世界で共有している言葉ですので、本
来、大事にすべきもの。メネットという言葉はあく
まで「女性」を定義する言葉でその意味をL G
B T等を理由にずらしていくことはおかしい。

*メネットに役員会での議決権を持たせるか等、その
当時における様々なメネット課題を整理した今
現在の西日本区の中でどうあるべきかを整理す
る等、様々な課題が含まれている協議案。

*昨年、メネットという言葉をもう少し拡大解釈を
してパートナーという言葉を使おうと申し上げ
た一番の理由は、メネットの活動というものを
メンの活動を単に支えるという意味合いからも
っと広範な形で皆さんが参加できる意味合いを
持たせたいということからでした。

*現在の定款はメンバーが男性であることを前提
としています。女性会員が増えている今、定款は
変更すべきと思う。反面、メネットとして活動し
ている女性が少なくなっている現状の中で、今後メ
ネット事業をどうして行くべきかということ考
えるべき。

*日本の定款を作成する時にメネットがメンのワイ
ズメンズ活動をサポートするだけでは面白くな
いだろうとのことで、メネット独自でも活動
できるという形の入ってしまった。現在、
国際のメネット事業がどうなっているのかの現
況を知りたい。

*協議案で言われている「呼称」という意味では、
国際にはまだメネットという言葉は残っています
ので西日本区だけ変更するのはおかしい。

*なかのしまクラブは全員が女性ですのでメネット
会は存在しない。「男性が役目を担う場合」とい
う箇所を考慮して欲しい。

*新入会員にワイズの活動や事業を理解してもら
うには誰でもわかる名前(ワイズ用語)をつけるこ
とが重要。

今回、協議案として挙げさせていただいた根底には、
昨年のメネット懇談会でメネットの位置づけ・メネ
ットのあり方などが問われ、それを踏まえ提案させ
ていただきました。今後、事業委員会や常任役員会、
組織検討・安全対策委員会の皆さまお力をお借り
して十分に検討して進めていきたいと思っています。

メネット事業主任 吉本典子



YMCA キャンプ 100 記念シンポジウム実施報告

大阪YMCAキャンプ 100 年
記念シンポジウム事務局

今年、私たち日本のYMCAにとっての記念すべき年です。六甲山YMCAで、初めての教育キャンプが始められてから、100年目の年となります。これまで、3年にわたり、キャンプ100記念の活動を全国のYMCAで展開してきましたが、是非、これからもキャンプという手法の可能性を広げて、私たちの社会をつくり出す、対話して作り出す力を持つ人財育成に取り組んでいきたいと考えております。

11月7日(土)は、YMCA キャンプ 100 記念シンポジウムにご参加いただき、ありがとうございます。当日は、ご参加されたみなさまの暖かい見守りのもと、会を進めることができましたことに感謝いたします。

当日の様子は、未配信動画のスペシャル付録を加えて編集した、シンポジウム動画が完成しましたのでご案内いたします。インタビュースピーチやパネルディスカッション、国内外キャンプディレクターからのメッセージ、スペシャル付録(キャンプの感想 子ども達へのインタビュー)など、ぜひ、ごゆっくりとご視聴ください。

再編版動画 URL :

<https://www.youtube.com/watch?v=yOdkK60DZoY>

「YMCA キャンプ 100 記念シンポジウム」

日 時 2020年11月7日(土)13:30~16:00

会 場 大阪 YMCA 会館 9 階よりオンライン配信・
後日視聴配信

主 催 日本 YMCA 同盟

主 管 大阪 YMCA

協 力 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

申込者 ワイズ、元職員を含む一般 112 名、職員
240 名、ユースボランティア 47 名

主 題 ○○ × キャンプ = 次の世代へ

趣 旨 日本の組織キャンプ 100 周年において、
これからの時代にキャンプの価値と
は何かを見出すキャンプの価値の再
提言を社会に発信する。

目 的 Society5.0、ニューノーマルの時代にお
けるキャンプの価値・可能性を考える。
共創によるキャンプムーブメントの
再興

メネット事業国内プロジェクト報告

報告 1. 熊本ジェーンズクラブ

9月8日(火) 於:熊本ホテルキャッスル
9月メネット強調月間に伴い、メネット例会を開催。

「メネットのあゆみ」と題してプロジェクターで過去のメネット会活動などが写真や動画でスクリーンに映し出され、ニコニコファンド献金とメネット会計からの献金を熊本YMCA留学生支援金として加藤担当主事に贈呈。熊本YMCA学院日本語科尾道一幸校長からお礼のメッセージをいただきました。

「お礼のメッセージ」

この度は、メネット例会におきまして、熊本YMCA学院留学生のために募金を頂き、誠にありがとうございます。ジェーンズクラブ様からは、既に多大なご協力を頂いている中で、更にご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

熊本YMCA学院日本語科 校長

熊本YMCA東部センター 館長

尾道 一幸

(塚田メネット会長)



報告2. 熊本クラブ

11月9日(火) 於: 熊本YMCA中央センター

コロナ禍で苦勞している留学生への支援として、じゃがいも20箱(200kg)を贈呈。人数分の小分けのレジ袋にポテトメッセージに激励の言葉を添えたシールを貼り、代表者にお渡ししました。コロナ禍の中、母国に帰ることもできず、バイトにも行けず、困難な状況に置かれた沢山の留学生達の様子は、これまで頭では理解しているつもりでしたが、直接耳にした声は、それを越えて重く胸に響きました。

これから、どれだけの事が出来るのかはわかりませんが、せめて、彼等の苦勞を折に触れ心に留めて過ごしたいと思いました。

代表の方からは、上手な日本語でお礼のご挨拶をいただきました。(今村メネット会長)



報告3. 瀬戸山陰部メネットアワー

日本キリスト教団岡山教会 9月15日(火)

YMCAせとうち白鳥雅人副総主事による講演
演題「コロナ禍におけるYMCAの働き」

1. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
2. この状況の中で行った取り組み
3. ワイズメンズクラブの協力

その他 米子クラブのメネット活動報告

ワイズメンズクラブの協力

活動として、リモートでの講演会協賛・キャンプ支援など(今年度は貸し切りバス料金負担 及び 果物の差し入れ・・・メンバーが昼食作りをしてキャンプ参加を考えていたがコロナで中止)

今後も、子供たちの健全育成を念頭に共に協働していくこと。



九州部メネットアワー

12月5日(土) 於: 鹿児島市国際交流会館

ZOOM 配信併用

講演: テーマ「コロナ禍の現状が子どもに与える影響
～スクールカウンセリングを通して見える子どもと家庭も含めて～」

講師: 児玉さら先生

(臨床心理学・公認心理士・鹿児島県
スクールカウンセラー)

今年は新型コロナウイルスによって世界が一変した。それは大人の世界のことだけではなく、子どもたちも同じように影響を受けた1年でした。

疲れ、ストレスをためている子どもが増えている。思考もネガティブになりがち、傷つくことを怖がっていることも。ただし大人も同じような傾向にある。

生活のリズムが壊れ、疲れ・ストレスをためている子どもが増えています。子どもの世界をいかに確保してあげることができるかは大人の大きな課題になるのでは。無理に子どもとの時間をつくるのではなく 30分でもいいから心から子どもと向き合う時間を持つ、子どもの話に耳を傾けることが大切、など児玉さら先生のお話はとても分かりやすく、共感するものがありました。先生のお話を簡単に纏めることはできませんが、私なりに印象に残ったことを書かせていただきました。お許し下さい

メネット事業主任 吉本典子

メネット事業国内プロジェクト実施報告書

「各クラブで地域YMCAの支援」をお願いし、支援されたクラブはメネット事業実施報告書を提出していただきます。今期は自由献金ですので西日本区からの支援金はございません。

ブリテンを拝読しておりますとメネット会単独では無くてもメンと協力して地域YMCA支援をされていらっしゃいます。メネットが参加し、クラブ・部の事業として支援をされたクラブ、部がございましたら報告書を提出いただければ幸いです。

メネット事業実施報告書は西日本区ホームページの書庫にございます。

メネット事業献金のお願い

メネット事業献金払込取扱票を会長宛に郵送しております。今回は自由献金となっておりますが、皆さまのご協力をいただければ幸いです。いただいた献金につきましては「YMCAキャンプ100年記念シンポジウム」とポジティブネットを行うYMCAの支援を事業委員会で検討します。

◆ゆうちょ銀行 口座記号

口座番号 00900-8-282909

加入者名：ワイズメンズクラブ西日本区
メネット会

*送金先は西日本区事務所ではなく、
メネット事業主任で受け付けております

同封の払込取扱票をご利用ください。

期日：2021年2月15日までによりしく
お願いいたします。

編集後記

今年も残すところ20日あまりとなりました。

この1年、新型コロナの影響で多くの人が仕事を無くし、大切な命をも亡くされました。子どもたちは友だちとも会うことができず、家にこもっています。私たちワイズメンズクラブはYMCAをサポートするクラブです。目的の1つに青少年育成があります。新型コロナ禍で悩んでいる子どもたちに手を差し伸べましょう。メネットの定義についても「ワイズ読本」を開いてみました。とても参考になりました。皆さまも改めてお読みいただければ幸いです。

吉本 典子

メネット事業実施報告書		年	月	日
ワイズメンズクラブ国際協会				
西日本区理事	_____	様		
西日本区メネット事業主任	_____	様		
部 部長	_____	様		
部事業主査	_____	様		
	_____	部	_____	クラブ
	_____	会 長	_____	@
	_____	メネット担当	_____	@
下記の通りメネット事業活動を実施しましたので、報告します。				
言 記				
1. 事業名				
2. 実施年月日(又は期間)				
3. 実施場所				
4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)				
5. その他				
※4部作成の上、理事及び事業主任・部長及び事業主査へご提出下さい。				